

第11回

ちば・谷津田フォーラムシンポジウム

テーマ「命の水源としての谷津田」



イラスト: 松下優子

米づくりの場として2000年の歴史をもつ千葉の谷津田、豊かな里やま自然のなかの命の水源としても重要です。

谷津田・里やまの保全の取り組みとともに、研究者の方々から、谷津田と水との関わりについての講演をいただき、谷津田の将来と私たちの水環境について学びたいと思います。

日時 : 2006年 2月 12日(日) 10:00~16:00

場所 : 千葉県立中央博物館 1階講堂

参加費 : 無 料

主催 : ちば・谷津田フォーラム, NPO 法人 ちば環境情報センター

共催 : 里山シンポジウム実行委員会

連絡先: NPO 法人ちば環境情報センター TEL&FAX 043-223-7807, e-mail: hello@ceic.info

ちば・谷津田フォーラム HP: <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>

(プログラムは裏面に)

【プログラム】

9:30～ 受付

10:00～10:05 あいさつ ちば・谷津田フォーラム代表 中村 俊彦

10:05～12:05 I. 県内の谷津田をめぐる取組み事例発表（各発表 15 分質疑 5 分）

- ・野田市江川・三ヶ尾の水田・谷津田と斜面林の保全・・・新保国弘
- ・成東町早船の谷津田（仮題）・・・木下敬三
- ・千葉市緑区小山町の谷津田保全・・・松下恵美子
- ・全国地下水サミット 2005、市川市の地下水保全の取組み
・・・市川市 環境清掃部 環境保全課
- ・佐倉市耕さない田んぼでの米づくり（仮題）・・・小高純子
- ・千葉県の水資源とハツ場ダム・・・ハツ場ダムをストップさせる千葉の会

12:05～13:30 昼食休憩・交流タイム

13:30～16:00 II. 講演及びパネルディスカッション「命の水源としての谷津田」

13:30～15:00 講演(各 30 分)

- ・千葉大学理学部教授 佐倉保夫
「地下水の動態と利用（仮題）」
- ・千葉敬愛短期大学前学長 堀田和弘
「印旛沼流域の湧水の実態と保全（仮題）」
- ・千葉県農業総合研究センター土壌環境研究室長 金子文宜
「水田をめぐる水環境（仮題）」

15:00～16:00 パネルディスカッション・意見交換

16:00 閉会

- * 昼食は各自でご用意下さい。
- * 駐車場は、青葉の森公園北口駐車場をご利用下さい(有料)。

＜アクセス＞

- ・JR 千葉駅東口の7番乗り場から京成バスで「大学病院」, 「大学病院 南矢作」, 「川戸」行きのいずれかに乗り, 「県立中央博物館」で下車(所要時間約 13 分), 徒歩約5分。
- ・京成千葉寺駅の 1 番乗り場から「大学病院(京成千葉寺経由)」行きに乗り, 「中央博物館」で下車, 徒歩約 5 分. この路線は 1 時間に 2～4 本運行されています。

